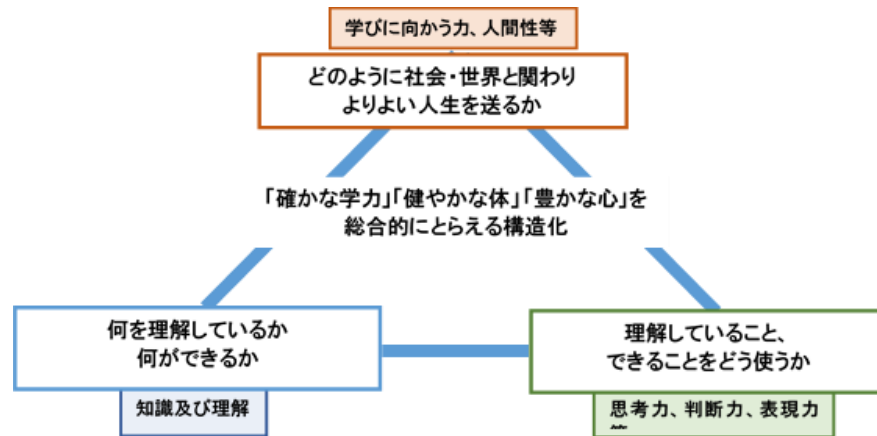


美術Ⅱ 観点別評価規準例 資料

三つの柱

学習指導要領の改訂では、子供たちにどのような力を育むのかという教育目標を明確にし、それを広く社会と共有・連携していけるようにするために、学習指導要領等に基づく指導を通じて子供たちが何を身に付けるのかを明確に示していくことが求められた。そのため、学びを通じて「何ができるようになるか」という視点から、育成すべき資質・能力が整理された。



知・徳・体にわたる「生きる力」を子供たちに育むため、「何のために学ぶのか」という学習の意義を学校と社会とが共有しながら、授業の創意工夫や教科書等の教材の改善を引き出していけるよう、全ての教科等の目標や内容が、「①知識及び技能」、「②思考力、判断力、表現力等」、「③学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理された。

芸術科「美術」が目指す資質・能力

芸術科「美術」で育成を目指す資質・能力を「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力」と規定し、目標を(1)「知識及び技

能」、(2)「思考力、判断力、表現力等」、(3)「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理して、これらが実現できるように示された。

また、各科目の資質・能力の育成に当たっては、生徒が見方・考え方を働かせて学習活動に取り組めるようにすることが示された。美術で育む資質・能力を捉える上で、キーワードとなるのが「造形的な見方・考え方」である。「造形的な見方・考え方」は、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や活をつくり出すこととされている。造形的な視点とは、形や色、材料や光などといった造形の要素に着目し、それらの働きを捉えたり、全体に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりする視点のことである。つまり、造形的な視点を基に思考・判断・表現することが「造形的な見方・考え方」を働かせることになると言える。

三つの柱で示す「美術」の目標

「(1) 知識及び技能」において、知識は造形的な視点を豊かにするための知識であり、技能は表現における創造的に表す技能に結びついている。

「(2) 思考力、判断力、表現力等」が指し示すものは、表現における発想や構想の能力、鑑賞における見方や感じ方に関する能力となっている。

「(3) 学びに向かう力、人間性等」は、学習に主体的に取り組む態度や美術を愛好する心情、豊かな感性や情操などに関するものを示している。

「美術」の目標と内容構成

<美術Ⅱの目標>

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなど

について考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

目標は内容の各項目と個別に関連している。「(1) 知識及び技能」の知識は新設の〔共通事項〕に関連し、技能はA表現の各項目のイに関連している。

「(2) 思考力、判断力、表現力等」はA表現とB鑑賞の双方に関連付けがあり、A表現では各項目のア、B鑑賞では項目全体に関連付いている。これは、「思考力、判断力、表現力等」の資質・能力を豊かに育むためには、表現の発想や構想と鑑賞に関する資質・能力を相互に関連して働かせて学習を進めることが大切だからである。「(3) 学びに向かう力、人間性等」は授業全体に関連付けて育成するように位置付けられており、A表現、B鑑賞及び〔共通事項〕を指導する中で、一体的、総合的に育てていくものとなっている。

〔共通事項〕について

新たに設定された〔共通事項〕は、表現と鑑賞のどちらの学習にも必要となる造形的な視点に関する指導事項であり、造形的な視点を豊かにするために必要な知識として位置付けられている。ここでの知識とは、単に新たな事柄として知ることや言葉を暗記することに終始するものではなく、生徒一人一人が表現及び鑑賞の活動を通して、形や色などといった造形の要素に着目してその効果を捉えたり、全体のイメージや作風、様式などで捉えたりする視点を理解し、実感を伴いながら理解を深め、生きて働く知識として身に付けるものである。

〔共通事項〕の「共通」とは、発想や構想、技能、鑑賞に関する資質・能力に共通して働くという意味で、A表現とB鑑賞の学習、それぞれに必要な資質・能力を育成することを示したものである。そのため、〔共通事項〕

はそれのみで取り上げて題材にするものではなく、A表現とB鑑賞の双方の学習を通して指導すること、と記されている。今後は、〔共通事項〕に示される資質・能力を理解し、表現と鑑賞の学習の相互の関連をより強く意識した指導が求められる。

○「美術Ⅱ」の目標と指導内容の関連

領域等	項目	指導内容	目標との関連
A 表現	(1) 絵画・彫刻	ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想	「思考力、判断力、表現力等」
		イ 発想や構想をしたことを基に創造的に表す技能	「技能」
	(2) デザイン	ア 目的や機能などを考えた発想や構想	「思考力、判断力、表現力等」
		イ 発想や構想をしたことを基に創造的に表す技能	「技能」
	(3) 映像メディア表現	ア 映像メディアの特性を踏まえた発想や構想	「思考力、判断力、表現力等」
		イ 発想や構想をしたことを基に創造的に表す技能	「技能」
B 鑑賞	(1) 鑑賞	ア 美術作品などに関する鑑賞	「思考力、判断力、表現力等」
		イ 美術の働きや美術文化に関する鑑賞	
〔共通事項〕		ア 造形の要素の働きの理解	「知識」
		イ 全体のイメージや作風、様式などで捉えることの理解	

学習評価について

学習評価については、指導したことを評価し、評価したことを指導に生かしていく「指導と評価の一体化」が強調されている。このことから、目標の三つの柱と対応して学習評価の観点も3観点で整理された。

<美術Ⅰ～Ⅲの評価の観点の趣旨>

美術に関する各科目の特性に応じた評価の観点の趣旨。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
美術Ⅰ	○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ○意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。
美術Ⅱ	○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ○表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
美術Ⅲ	○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ○意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表わしている。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

<4観点から3観点に>

観点別学習状況の評価の観点もこれまでの4観点から、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理された。特に留意したいのは、「知識」が今回の改訂で新設された〔共通事項〕と対応していることである。

また、従前の4観点では、第2観点と第4観点を「発想や構想の能力」及び「鑑賞の能力」と位置付けていたが、今回の改訂では「A表現」及び「B鑑賞」相互の関連を図り、特に発想や構想と鑑賞とを総合的に働かせて「思考・判断・表現」の観点として評価を行う事が求められている。

■「知識・技能」の評価

○「知識」は〔共通事項〕で示された造形的な視点を豊かにするための知識として、造形要素の働きを理解することや、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などでとらえることが理解できているかを評価する。「技能」は発想や構想したことなどを作品に表すための創造的に表す技能を評価する。

■「思考・判断・表現」の評価

○「A表現」の発想や構想を通して育成する力と、「B鑑賞」の鑑賞を通して育成する力で構成され、双方に働く中心となる考えなどを深め、その状況を評価をする。

■「主体的に学習に取り組む態度」の評価

○美術の創造活動の喜びを味わいながら、「知識・技能」を身に付けたり、「思考・判断・表現」を高めようとしたりする学習活動に主体的に取り組もうとする態度を評価する。

4 観点（平成 22 年）の「美術Ⅱ」評価の観点の趣旨

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。

3 観点（平成 31 年）の「美術Ⅱ」の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
・表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	

※旧 4 観点と新 3 観点がどのように対応しているのかを矢印で示した。

- 4 観点の「美術への関心・意欲・態度」は、3 観点の「主体的に学習に取り組む態度」に対応。
- 4 観点の「発想や構想の能力」は、3 観点の「思考・判断・表現」の前半部分に対応。
- 4 観点の「創造的な技能」は、3 観点の「知識・技能」の技能に対応。
- 4 観点の「鑑賞の能力」は、3 観点の「思考・判断・表現」の後半部分に対応。
- 3 観点の「知識・技能」の「知識」は、〔共通事項〕に対応。

『高校生の美術2』（美Ⅱ-702） 題材の目標と評価規準（例）

- ・本資料では3観点の評価規準例をすべての内容について示していますが、毎回の授業ですべての観点を評価する必要はなく、授業展開に応じて必要な観点を選択・アレンジして使用してください。
- ・本資料は制作中のものであり、今後改訂する可能性があります。
- ・表内で用いている略号は以下となります。
 - 「知」＝「知識・技能」の知識に関する評価規準
 - 「技」＝「知識・技能」の技能に関する評価規準
 - 「発」＝「思考・判断・表現」の発想や構想に関する評価規準
 - 「鑑」＝「思考・判断・表現」の鑑賞に関する評価規準
 - 「態表」＝表現における「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準
 - 「態鑑」＝鑑賞における「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準
 - 「知・技」＝「知識・技能」に関する評価規準

教科書 p 4~5 観賞／絵画 絵画の役割と写真の発明

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 形や色彩、構図などの効果、全体のイメージなどを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 作品の描かれた年代と主題などを基に、絵画の役割や作者の意図と工夫などについて考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 絵画の役割の変化と表現としての意義やよさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」 形や色彩、構図などの効果、全体のイメージや作風などを捉えることを理解している。	「鑑」 作品の描かれた年代と主題などを基に、絵画の役割や発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」 絵画の役割の変化と表現としての意義やよさなどを感じ取る鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p6~7 表現・鑑賞／絵画 水による演出

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 水がつくりだす印象や風景のイメージなどを捉え、絵の具などの表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 風景のイメージなどを基に、水による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 水による表現の効果を生かして風景画に表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」風景画に見られる水による効果や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」主題に合った絵の具などの表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p>	<p>「発」風景から感じ取った印象などを基に、水による表現の効果などを考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」水のもたらす造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態表」水による表現の効果を生かして表す創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」作品に表された水による表現の効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p8~9 表現・鑑賞／絵画 奥行きや空間を捉える

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 大気や光、奥行きや空間、風景のイメージなどを捉え、絵の具などの表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 風景のイメージなどを基に、奥行きや空間などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 奥行きや空間を生かして風景画に表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」風景に見られる大気や光、奥行きや空間などの効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」主題に合った絵の具などの表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p>	<p>「発」風景のイメージなどを基に、奥行きや空間などの効果を考えたことなどから主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態表」奥行きや空間を生かして風景画に表す創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」作品に表された風景などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 10～11 表現・鑑賞／絵画 ものの質感を生かして

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 質感や全体のイメージなどを捉え、絵の具などの表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 ものや場面のイメージなどを基に、質感の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 質感を生かして、ものや場面のイメージを表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」ものや場面から感じ取った質感や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」主題に合った絵の具などの表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p>	<p>「発」ものや場面のイメージなどを基に、質感の効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」質感の表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態表」質感を生かして表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」作品に表された質感の表現の効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 12～13 表現・鑑賞／絵画 人物のイメージや心情を捉える

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 動きやしぐさ、表情、人と人との関係性、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 人物の性格や人柄、印象などを基に、動きやしぐさ、表情、色彩や構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 色彩や構図などを生かして、人物の性格や人柄などを表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」動きやしぐさ、表情、人と人との関係性、全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」主題に合った絵の具などの表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p>	<p>「発」人物の性格や人柄、印象などを基に、動きやしぐさ、表情、色彩や構図などの効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」人物の性格や人柄などの表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態表」色彩や構図などを生かして、人物の性格や人柄などを表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」作品に表された動きやしぐさ、表情、色彩や構図などの効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 14～15 鑑賞／絵画 テーマを追求する — マティスの試行錯誤—

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 形や色彩、構図などの効果、全体のイメージや作風、様式などを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 絵の変化などから、作者の意図や構想の独自性と表現の工夫などについて考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 構想の変化などを考えて鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」 形や色彩、構図などの効果、全体のイメージや作風などを捉えることを理解している。	「鑑」 絵の変化などから、作者の意図や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」 構想の変化などを考えて鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 16～17 表現・鑑賞／絵画 感覚の冒険

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 対象のイメージなどを捉え、絵の具などの表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 心で捉えたイメージなどを基に、単純化や強調、色彩などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 心で捉えたイメージを表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」 ものや情景、音楽などから感じ取った感覚や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」 主題に合った絵の具などの表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p>	<p>「発」 心で捉えたイメージなどを基に、単純化や強調、色彩などの効果を考え、主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」 目には見えないイメージの形と色彩による表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態表」 心で捉えたイメージを表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」 対象を単純化したり、イメージする形や色を組み合わせたりすることの効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 18～19 表現・鑑賞／絵画 線と明暗の表現

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 線や明暗による表現の効果、全体のイメージなどを捉え、鉛筆などの特性を生かし表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 対象から感じ取った印象などを基に、線や明暗による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 線や明暗による表現の効果を考え、工夫して表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」線や明暗による表現の効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」意図に応じて鉛筆などの特性や効果を生かし表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p>	<p>「発」対象から感じ取った印象などを基に、線や明暗による表現の効果考えたことなどから主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態表」線や明暗による表現の効果を考え、工夫して表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」作品に表された線や明暗による表現の効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 20～21 表現・鑑賞／絵画 錯覚による不思議な世界

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 形や明暗、描く角度などが生み出す「錯視」の効果、全体のイメージなどを捉え、表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 「錯視」の効果のよさや面白さ、表現の工夫などについて考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 「錯視」の効果を生かして明暗で表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」形や明暗、描く角度などが生み出す「錯視」の効果や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p>	<p>「発」「錯視」の効果のよさや面白さ、表現の工夫などについて考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」「錯視」の効果のよさや面白さ、表現の工夫の造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態表」「錯視」の効果を生かして明暗で表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」作品に表された「錯視」の効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 22～28 鑑賞／絵画・デザイン 琳派—継承と創造の系譜—

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 単純化、大胆な構図、金銀の箔はくを背景に用いた表現などの効果、全体のイメージなどを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 琳派の表現のよさや美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造などについて考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 琳派の作品の表現のよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」単純化、大胆な構図、金銀の箔を背景に用いた表現などの効果、全体のイメージや作風などを捉えることを理解している。	「鑑」琳派の表現のよさや美しさ、表現の独自性、作者の意図と創造的な工夫などを感じ取り、美術文化の継承と創造などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」琳派の作品の表現のよさや美しさ、表現の独自性などを感じ取る鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 30～31 表現・鑑賞／絵画 版の表現

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 線や明暗、色彩などの特性や効果を捉え、版画の技法による表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 版画の技法による表現の特性や効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 版画の技法による表現の特性や効果を生かして表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」版画に見られる線や明暗、色彩などの特性や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。	「発」感じ取ったことや考えたことなどから、版画の技法による表現の特性や効果を生かして主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。	「態表」版画の技法による表現の効果を考え、工夫して表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
「技」版画の技法の特性や効果を生かした表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	「鑑」版画技法のよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」版画作品に表された線や明暗、色彩などの効果を感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 32～33 表現・鑑賞／絵画 生物を空想して

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 形や色彩の効果、既存の生き物や器物などの特徴やイメージを捉え、表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 空想の生物の能力や生息場所のイメージなどを基に、形や色彩の効果などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 空想の生物を考えて表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」形や色彩の効果、既存の生き物や器物などの特徴やイメージを捉え、表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>「技」主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p>	<p>「発」空想の生物の能力や生息場所のイメージなどを基に、形や色彩の効果などを考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態表」空想の生物の能力や生息場所などのイメージを基に、形体や色彩などを考えて表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」空想によって表された新しい価値や意味などなどを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 34～35 鑑賞／絵画 作家探究 高村光太郎

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 形や素材、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージや作風、様式などを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 高村光太郎の作品のよさや美しさ、日本の近代彫刻の特質、美術文化の継承と創造について考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 高村光太郎の作品のよさや美しさ、日本の近代彫刻などを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」形や素材、重心やバランス、動勢などの効果を基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p>	<p>「鑑」高村光太郎の作品のよさや美しさ、日本の近代彫刻の特質、美術文化の継承と創造について多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態鑑」高村光太郎の作品のよさや美しさ、日本の近代彫刻などを鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 36～37 表現・鑑賞／彫刻 身近なもので生み出す

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 ものの見立てや組み合わせなどが感情にもたらす効果などを理解し、表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 見立てや組み合わせなどによりつくりだされる新しい価値や意味などのイメージを生かし、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 ものの見立てや組み合わせにより新しい意味や価値をつくりだす創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」ものの見立てや組み合わせなどが感情にもたらす効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p>	<p>「発」見立てや組み合わせなどによりつくりだされる新しい価値や意味などのイメージを生かして主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態表」ものの見立てや組み合わせにより新しい意味や価値をつくりだす創的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」ものの見立てや組み合わせなどによって表された新しい価値や意味などなどを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 38～39 鑑賞／彫刻 石のもつ素材としての可能性

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 石のもつ素材の特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 表現素材としての石のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 表現素材としての石のよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」石のもつ素材の特質が感情にもたらす効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p>	<p>「鑑」表現素材としての石のよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態鑑」表現素材としての石のよさや美しさなどを鑑賞する創的な諸活動に、取り組もうとしている。</p>

教科書 p 40～41 鑑賞/デザイン 言葉を超えて「ヒロシマの心」を訴えるポスター

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 それぞれの作品の色彩や構図などに着目し、全体のイメージや、効果的に伝えるための表現の工夫を捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 伝達の目的や条件などを基に、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて考え、鑑賞する。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 効果的に伝えるための表現の工夫などを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」それぞれの作品の色彩や構図などに着目し、全体のイメージや、効果的に伝えるための表現の工夫を捉えている。	「鑑」伝達の目的や条件などを基に、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」効果的に伝えるための表現の工夫や調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取るポスターの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 42～43 表現・鑑賞/絵画 情報を伝えるデザイン

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 形や色彩、文字などの効果を生かし、表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 伝えたい情報の目的や対象、方法などを基に、場面に合わせた効果を考え、デザインの構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 目的や条件などを基に、情報を伝えるデザインの創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」形や色彩、文字などの工夫を基に、情報を伝えるためのデザインの効果を捉えることを理解している。</p> <p>「技」伝達の目的や条件などに合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p>	<p>「発」伝えたい情報の目的や対象、方法などを基に、場面に合わせた効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的なデザインの構想を練っている。</p> <p>「鑑」伝達の目的や条件などを基に、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態表」目的や条件などを基に、情報を伝えるデザインの創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」情報を伝えるための方法や工夫を感じ取るデザインの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 44～45 表現・鑑賞/デザイン デザインがもたらす統一感

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 形や色彩、構成などの効果、統一感などを捉え、表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 統一感のあるデザインの効果や工夫について考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 統一感のあるデザインの創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」統一感のあるデザインのための形や色彩、構成などの効果を捉えることを理解している。</p> <p>「技」イメージを効果的に伝えるための統一感のあるデザインの表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p>	<p>「発」統一感のあるデザインの効果や工夫について考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」統一感のあるデザインの効果や工夫、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態表」イメージを効果的に伝えるために統一感を演出するデザインの創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」イメージを効果的に伝えるために統一感を演出するデザインの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 46～47 鑑賞/デザイン 行為を誘うデザイン

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 デザインの形や色彩の効果などに着目し、使う人の行為や心情などを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 使う人の目的や用途、場面、行為や心情などを考えたデザインの意図と工夫について考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 使う人の行為や心情などを考えたデザインの創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」デザインの形や色彩の効果などに着目し、使う人の行為や心情などを捉えることを理解している。</p>	<p>「鑑」使う人の目的や用途、場面、行為や心情などを考えたデザインの意図と工夫について多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態鑑」使う人の行為や心情などを考えたデザインの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 48～49 鑑賞/デザイン 庭園のデザイン

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 庭園を構成する形や色彩、光などの効果や、その場の特徴、全体のイメージを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 庭園の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、生活や環境を心豊かにする美術の働きについて考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 生活や環境と庭園の関わりについて鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」庭園を構成する形や色彩、光などの効果、その場の特徴などを基に全体のイメージや様式などで捉えることを理解している。	「鑑」庭園の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」生活や環境と庭園の関わりについて鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 50～51 鑑賞/デザイン 感覚に訴えるデザイン

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 既存の道具や製品などの操作で身に付けた感覚やイメージなどを基に、デザインの形や配置などの効果を捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 使う人の感性や感覚、経験などを基に、使いやすさを考えたデザインの意図と工夫について考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 使う人の感性や感覚、経験などを考えたデザインを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」既存の道具や製品などの操作で身に付けた感覚やイメージなどを基に、デザインの形や配置などの効果を捉えることを理解している。	「鑑」使う人の感性や感覚、経験などを基に、使いやすさを考えたデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」使う人の感性や感覚、経験などを考えたデザインの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 形や素材、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージや作風、様式などを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 高村光太郎の作品のよさや美しさ、日本の近代彫刻の特質、美術文化の継承と創造について考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 高村光太郎の作品のよさや美しさ、日本の近代彫刻などを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」形や素材、重心やバランス、動勢などの効果を基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	「鑑」高村光太郎の作品のよさや美しさ、日本の近代彫刻の特質、美術文化の継承と創造について多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」高村光太郎の作品のよさや美しさ、日本の近代彫刻などを鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 複数の写真の組み合わせによる効果や全体のイメージなどを捉え、表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 複数の写真の組み合わせによる表現の効果、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 複数の写真で表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」複数の写真の組み合わせによる効果や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。</p> <p>「技」主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p>	<p>「発」複数の写真の組み合わせによる表現の効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態表」複数の写真で表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」複数の写真のそれぞれの意味や役割、組み合わせによる効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 56～57 表現・鑑賞／映像メディア表現 アニメーションで伝える

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 構図や動き、場面の变化などの効果を捉え、表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 アニメーションの特性を生かした表現の工夫や効果、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 アニメーションの特性を生かして表現する創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」構図や動き、場面の变化などの効果や全体のイメージなどで捉えることを理解している。</p> <p>「技」主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p>	<p>「発」アニメーションの特性を生かした表現の工夫や効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考え、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態表」アニメーションの特性を生かして表現する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」作者の意図や表現の工夫、映像やアニメーションによる伝達表現の特性や効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 58～59 鑑賞／映像メディア表現 コンピュータを活用した表現

目標		
<p>知識及び技能に関する目標 形や色彩、動きなどの効果や、造形的な特徴を基に全体のイメージなどを捉える。</p> <p>思考力、判断力、表現力等に関する目標 科学的データ等を基にしたコンピュータによる映像表現の特性や表現効果、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考える。</p> <p>学びに向かう力、人間性等に関する目標 科学的データ等を基にしたコンピュータによる映像表現を鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」形や色彩、動きなどの効果、造形的な特徴などを基に全体のイメージなどで捉えることを理解している。</p>	<p>「鑑」科学的データ等を基にしたコンピュータによる映像表現の特性や表現効果などを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態鑑」科学的データ等を基にしたコンピュータによる映像表現を鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>